

再び澁谷町民諸彦に訴ふ

日本無線株式会社労働組合破壊!!

吾等は、再び諸彦の前に訴へ公正なる批判を乞はざるを得ぬ事件の連続したることを甚だ遺憾とするものである。六月廿五日日本無線株式会社東京に發起したる傷害事件は本月二日若の責任を以て杉職長の職を解せしめ、会社に於て充分監督すると云ふ会社の意見に従ひ、共に將來を注意して再び不祥事件の起らざる様相を期して田嶋解決したのである。然るに会社は責任を解任せしめたる小杉に、試作主任兼部長助手と云ふ半職を以て復に彼を擁護する精神を表したるが故に、過去の事を以て亦々会社は小杉と共に労働組合を壓迫せんとする意を述べたものと不承の念を組合員に抱かしめられたるに至つた。

去る十三日小杉の兒分と称せられる十八名は建被解職した。其型小杉は組合幹部太田、鈴木高つて、俺の兒分十八人が解職した以上は俺も解職しなければならん、併し俺の後任にどんな奴がスワルか知りんか、此の会社が去ち行くと思ふのか、俺は最後に言ふ、吾等は池田を田嶋が解雇したるが故に、皆やめて行くか」と一かも泥酔してドクツいたのである。

十八人の解雇歌……小杉の此の愚言とをよよく考察すれば、此の腹は何物か洗つて居るか直ぐに思ひあつたであらう、又々奇怪なるは、会社が嫌いと云つて解雇した十八人が其型小杉の手紙と出動したかと思ふとお島技師は組合幹部池田とを別々に一室に呼んで「お前会社を解して田嶋に一時帰らぬいか金は過分にやる」とくどくどいのである。「諸君何と不承者ある精神であらう、之剛に組合の崩れ、諸君心より出たる幹部要員にあらすして何であらう、諸君よ労働組合は吾等は強するものである、人々を以て重んずる者形根性はいんも持たない、池田は吾等敵に之を拒絶ししんまうた、彼が会社は今お島を二階で働いてくれば云ひ出し、吾等は十八人の解雇と会社の此の言とを考へると何か底に階むものありと、俺も、直ぐに彼を逐に会社重役加藤、小島、宮野の三氏は色み切れず、お島は十八人より組合を逐に強烈にされるので二場に居られぬから解雇すると言つて居るので吾等には是非やめて貰はせられんと言ひ出さう。